

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要で良くなっている。しかしこれは3月までで、4月以降の反落は避けられない。
	やや良く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・週末等は、来街者数が少し増えているものの、顧客の価格に対する考え方がシビアになっており、来街者数の伸びに比べて売上の上昇は非常に鈍い。
		商店街(事務局 長)	来客数の動き	・年始の一週間は入人も多く、売上も前年以上であった。その後は、反動による減少が若干見られるが、3月末までは期待を以てる。
		百貨店(営業担 当)	単価の動き	・来客数は前年並みだが、客単価が少しずつ上昇している。100万円超の高額品が動いており、景気は少し上向いている。
		コンビニ(店 長)	来客数の動き	・来客数が前年比5%増であった。
		コンビニ(店 長)	来客数の動き	・来客数、売上共に前年を超え、順調に推移している。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・消費税増税が近づいたことと、新型車の投入から、3月末までに登録を考える顧客も見られる。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で大きく販売量を伸ばしている。これは3月中旬まで続くと思われる。
		乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・消費税増税と景気の底堅さで、受注が増加している。新型車の投入等もあることから、この数が月は期待している。
		その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	単価の動き	・消費者の買物に対する姿勢は慎重ながらも、客単価が若干上昇している。
		旅行代理店(支 店長)	単価の動き	・卒業旅行の申込が昨年以上に多い。旅行単価も海外長距離旅行を中心に、高額商品の申込が増えている。
	通信会社(企 画)	お客様の様子	・引き続き比較的高額な商品への引き合いが好調であるが、景気が良いとまでは言えない。	
	競艇場(職員)	販売量の動き	・正月レース等が開催され、売上は前月比8.4%増、3か月前比40.4%増となり、盛況であった。	
変わらない	商店街(代表 者)	それ以外	・景気高揚の実感がほとんど伴わない。消費税増税だけが経済を締め付ける気がする。	
	一般小売店[生 花](経営者)	お客様の様子	・顧客の希望する商品が高価なものや安価なもの両極に分かれている。最近では仕入価格が急激に上昇しており、仕入が難しい。	
	スーパー(店 長)	単価の動き	・現時点では、消費税増税前の駆け込み需要の気配がない。	
	スーパー(企画 担当)	来客数の動き	・来店客数は増えていないが、客単価が伸びているので、売上は落ちていない。客単価の上昇は、商品価格上昇が影響している。	
	スーパー(財務 担当)	単価の動き	・客単価は上昇しているが、その大半は、野菜等の商品単価の上昇によるものである。	
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・来客数に変化はない。低価格志向が定着し、欲しい品物でも価格を見ている。給料が増えるかどうかでなく、増えてから考えるというような様子である。	
	観光型旅館(経 営者)	お客様の様子	・年末年始の日並びが良かったので、満館が続いたが、それ以降は前年より来客数が減っている。	
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・客の雰囲気は明るさが出てきているように見えるが、景気が良くなっているというほど来客数は伸びていない。さらに、客単価が今以上下落するのではないかと感じている。	
	ゴルフ場(従業 員)	来客数の動き	・来客数は月初はまずまずだったが、中旬以降に伸びがなく、前年に比べても、若干下回った。	
	設計事務所(所 長)	単価の動き	・単価は3か月前とあまり変わっていない。今後の見通しは非常に不透明である。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・初売りや福袋等の売行きは好調であったが、第2週目以降は客足が止まっている。見に来ているだけで、購買意欲は全く感じられない。本当に財布のひもが固くなっている。	
	一般小売店[書 籍](営業担 当)	競争相手の様子	・県内の書店の廃業は、昨年1年間で2軒であったが、今年は既に2軒予定されている。	
	スーパー(店 長)	来客数の動き	・天候不順の影響もあると思うが、年始商戦終了後は来客数が減少している。	

		コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温の低下に伴い、来客数が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・前年と比較して、セール売上の落ち込みが非常に大きい。単品買いが多く、客単価が低下しており、厳しい推移をしている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新年会の頻度は例年より少ないようだ。新年会をしている職種も以前と異なり、医療関係、県外の企業、損保関係といったところが目立つ。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・閑散期に入っている。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・競合店が増えている。
	悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・寒さの影響もあるが、客が少ない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	それ以外	・廃業する同業者の話を聞くと心細くなる。人口減少が著しい県ではどの商売をするにも厳しい。景気の良い話はない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・毎年1月は良くない。新年会も少なく、昼間の利用も少ないため、昨年よりも悪い。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・年明けは売上が落ちる時期ではあるが、今年は開業以来最低である。
企業動向関連	良くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内は引き続き高稼働を維持し、リース単価の改善が見られる。海外は地域差があるが、全体的に堅調を維持している。
(四国)	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店からの発注が増えてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工場設備は、制御盤やモーターの改修などが良い。太陽光発電は50キロ前後の低圧タイプが非常に好調で、問い合わせも多い。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の販売促進広告等により、広告費が増加している。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先の決算書等をみると、売上が伸びている企業が若干増えてきている。景気はやや良くなっているのではないかと。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・入荷数量が少なく、高単価で推移したが、売行きが良いわけではない。
		食品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は冷凍食品の販売量が減る。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月の反動で受注量は大幅に落ちている。しかし、大口のギフト受注が入ったので、売上は例年より上昇している。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量、ならびに当社の販売高に大きな増減はない。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は増加したが、単価が合わず、利益が出ない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・手持ち仕事量が多く、年度末納期を控えてフル稼働の状態が続いている。受注量、販売量ともここ数か月は高めに推移している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず職人不足で、受注に苦労している。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・景気回復に向かう気配はあるが、実質的な成果はまだ見られない。
	やや悪くなっている	輸送業（営業）	取引先の様子	・四国産の青果物を全国の卸売市場や流通業者に輸送しているが、昨年末から、各地の卸売市場内の青果物卸売業者の倒産が相次いだことから、取扱物量が著しく減少し、減収要因になっている。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・印刷業界では消費税増税前の駆け込み需要は感じられない。増税後の価格転嫁も難しいため、経営は厳しさが増す。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている			
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・求人数が昨年度より3割程度伸びている。業種は様々であるが、マッチングできる人材が不足し、人材の充足に至らない状況である。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は様々な業種で増えているが、求職者の条件と合わないケースがあり、受注と結びつきにくい。

	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・製造業や建設業で受注増が顕著となっており、消費税増税後も堅調に業績が上向くとの声がよく聞かれる。また、派遣料金の単価改定についても前向きな姿勢がうかがえる。
	求人情報誌(営業)	採用者数の動き	・企業の採用者数が、昨年同期に比べ当社扱いで10~20%増えている。
	新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・消費税増税を前に自動車販売店の広告出稿も多く、人気車種は4月以降の納車でも売れている。また、家電売場の来客数も増えているようだ。
	職業安定所(職員)	それ以外	・12月の月間有効求人倍率は1.12倍で、3か月前と比較して0.12ポイント上昇している。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・12月の新規求人数は前年同月比6.7%増となり、11か月連続で増加した。
	学校[大学](就職担当)	採用者数の動き	・内定辞退や職種選好などの動きが見え始めている。
変わらない	職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・過去最高の求人倍率が続いているが、非正規雇用が大半を占めるなど、雇用条件に好転は見られない。
	民間職業紹介機関(所長)	採用者数の動き	・全国報道等で新卒採用者数を増やすと聞くが、地方では様子見の企業が多いようだ。中途採用も、一部の業種を除いては積極的に増やしていく企業は少ない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-